

令和 8 年度一般選抜入試
『公共』出題意図

本出題の目的は、「公民」の教科書の内容に準拠した現代社会、公共、倫理に関する基礎的な知識の学習度合いを確認することである。問題は大問 3 題、大問ごとに 10 問を設定し、全 30 問からなる。大問Ⅰと大問Ⅱでは、現代社会にかかわる時事問題について記述した独自のリード文や新聞の社説、年表などを提示し、下線を記した語句に関する正誤選択問題や空欄穴埋め問題を出題している。大問Ⅲでは、一問一答形式で教科書や参考書などの基礎的な内容を幅広く問うている。なお、大問Ⅰでは主に経済、財政、金融に関する題材を、大問Ⅱでは主に政治や国際社会に関わる題材を取り上げることが多い。令和 8 年度は、安全保障理事会を含めた国際連合の在り方、ロシアによるウクライナ侵攻やイスラエルのガザ攻撃などを始めとする力による支配の現況、米国のトランプ政権の外交姿勢などを題材とした新聞社説に依拠した出題のほか、2000 年代以降の国際情勢の変化を問う問題を年表形式で出題している。